花巻で木質バイオマ

廃棄物処理やリサイクル業を営む㈱タケエイ（本社・東京都港区、山口仁司代表取締役社長）は、花巻市で木質バイオマス発電事業に参入。事業主体として㈱花巻バイオマスエナジーを設立し、同市大畑地内の花巻第1工業団地内に発電プラントやチップ工場を整備。未利用木材や一般木材を原料に、年間6250キロワット時を発電する。近く設計に入り、年明けには施工者を選定し、15年6月の着工予定。総事業費は20―30億円を想定しており、16年度中の操業開始を目指す。

同社は、産業廃棄物処理や収集運搬業を手掛けており、主要取引先は大林組や戸田建

調印後に握手する山口社長（中央）と上田市長（右）

資格公募は12月から

点検・診断資格　登録規定案を作成　国交省

国土交通省は、インフラ点検・診断の資格制度「公共工事に関する調査・設計及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程案」をまとめ、21日から意見募集を始めた。

登録の対象となる資格は、トンネル、港湾、砂防設備など10施設分野ですでに実績のある民間資格。橋梁は「鋼橋」と「コンクリート橋」に区分を分ける。

国交省は提出される意見も踏まえ、登録規程を12月上旬に官報告示した上で、登録を希望する民間資格の公募を始める。学識経験者らによる第3者委員会で適格性を審査し、年明けに第1弾の登録資格を決める。

登録制度は、社会資本整備審議会・交通政策審議会の技術部会が8月にまとめた緊急提言に基づいて創設する。高度経済成長期に整備された社会資本の老朽化対策を講じる上で、点検・診断を担う技術者の技術力を担保できるよう、資格制度の確立を図る。

登録規程案では、登録する資格の対象を▽公園施設（遊具）▽砂防設備▽地すべり防止施設▽急傾斜地崩壊防止施設▽海岸堤防▽橋梁（鋼橋）▽同（コンクリート橋）▽トンネル▽港湾施設▽空港施設―の10施設分野とした。技術部会の緊急提言で示された下水道の「管路施設」と河川の「堤防・河道」は、維持・修繕などに関する技術基準を検討中であることなどを理由に、今回は盛り込まない。

10施設分野で、点検・診断などを発注する際の標準的な発注単位である17業務を定めた上で、各業務における管理技術者・担当技術者に求められる知識・技術を明示。それぞれの技術者別に必要な知識・技術を満たすために確認する試験の要件なども定める。

また、資格の登録要件としてはこれに加え、資格試験が1回以上実施された実績があること、資格試験を継続的に実施すること、試験問題の作成と合格者判定を学識者（大学教授、准教授など）が担っていること、合格者に対する技術の維持向上のための措置（講習会の開催などなど、九つの条件を定め、全ての条件を満たすことを求めている。

登録する資格には、5年ごとの更新を求める。登録の要件に適合しない資格試験の運営者には、国交省は是正を勧告したり、登録の取り消しなどを行う。

国交省は初年度の登録手続きを12月から始めるほか、15年度から業務発注で登録された資格を入札参加要件などに組み込めるよう、直轄工事における資格の活用方法も合わせて検討。登録申請は毎年度受け付ける見通しで初年度の登録は10施設分野とするが、15年度に対象とする施設分野の拡充も検討する。

優れた技術 他の模範に

優良県営建設工事　21件・20社を表彰　県土整備部

県土整備部建設技術振興課は22日、14年度優良県営建設工事の受賞者を発表した。今年度は21件・20社の表彰を決定。表彰式は12月18日午後1時半から、盛岡地区合同庁舎で開かれる。

同制度は、建設業の健全な発展と施工技術の向上に資することを目的に、82年度から実施されているもので、今年で33回目。対象工事は、13年度に完成した請負額1000万円以上で、かつ工事成績評点が85点以上の県営建設工事。今年度の対象件数は615件。

選定に当たっては、各工事の発注公所などから推薦された70件を、優良県営建設工事表彰審査会で審査。総合的に工事成績が良好で、他の模範となる工事を表彰している。

今年度は、土木工事14件・13社、舗装工事1件1社、法面処理工事3件・3社、建築一式工事1件・1社、電気設備工事1件・1社、管設備工事1件・1社を表彰する。

㈱大久保建設と㈱小田島組は5年連続、樋下建設㈱は3年連続、宇部建設㈱と㈱小原建設、㈱かばら建設が2年連続の受賞。

受賞企業と対象工事は次の通り。

◇土木工事

▽宇部建設㈱（一関市）＝経営体育成基盤整備事業日形地区第10号工事▽㈱大久保建設（花巻市）＝一般国道106号柳橋ほか橋梁補修工事▽㈱小田島組（北上市）＝経営体育成基盤整備事業都鳥3期地区第6号工事▽同＝経営体育成基盤整備事業和賀中部第四地区第11号工事▽㈱小原建設（北上市）＝経営体育成基盤整備事業和賀中部第四地区第9号工事▽㈱かばら建設（遠野市）＝森林管理道平野原線（第2工区）開設工事▽㈱佐賀組（大船渡市）＝大船渡港山口地区港湾災害復旧（23災79、80、81、82号）工事▽㈲澤里土木工業（岩泉町）＝主要地方道岩泉平井賀普代線羅賀地区道路災害復旧（23災329号）工事▽三陸土建㈱（盛岡市）＝主要地方道盛岡和賀線飯岡工区道路改良（その3）工事▽昭栄建設㈱（盛岡市）＝集落基盤整備事業（地域用水型）鹿妻新堰地区第3号工事▽紫波建設㈱（紫波町）＝一級河川乙部川筋乙部地区砂防えん堤魚道設置（その2）工事▽進栄建設㈱（奥州市）＝市道尿前槻木平線若柳地区道路改良（その2）工事▽中央建設㈱（北上市）＝一般国道397号滝ノ沢橋橋梁補修工事▽㈱中舘建設（二戸市）＝市道役場線浄法寺大橋（仮称）下部工事

◇舗装工事

▽岡崎建設㈱（紫波町）＝一般県道志和石鳥谷線片寄地区道路災害復旧（24災69号）工事

◇法面処理工事

▽県北緑化㈲（岩泉町）＝一般県道安家玉川線茂井地区ほか道路災害防除工事▽鈴木工材㈱（一関市）＝一般国道457号中大桑地区道路災害復旧（23災302号）工事▽㈱山下組（花巻市）＝森林基幹道八戸川内線法面その1工事

◇建築一式工事

▽樋下建設㈱（盛岡市）＝災害復興公営住宅（釜石市平田地区）新築2工区（建築）工事

◇電気設備工事

▽㈱電友社（奥州市）＝岩手県立大東病院管理棟増築ほか（電気設備）工事

◇管設備工事

▽㈱盛福水道工業（盛岡市）＝県営松園アパート（12号棟）リフレッシュ（機械設備）工事

積算に実勢価格反映

営繕積算方式　活用マニュアル作成　国交省

国土交通省は、公共建築工事の積算に実勢価格や現場実態を反映させる「営繕積算方式」の活用マニュアルをまとめた。東日本大震災の被災3県で、地方自治体・建設業団体・設計団体向けの説明会を10月中に開き、同方式の浸透を図る。同方式は、実勢価格や現場実態との乖離（かいり）で生じる入札不調・不落を防ぐため、同省直轄の営繕工事で従来から行っている市場単価共通費（共通仮設費、現場管理費、一般管理費）で構成。

同省直轄の営繕工事では、直接工事費のうち、材料費・労務費・機械経費・下請け経費で構成する市場単価について、工事内容や施工条件に応じて補正する「市場単価補正方式」を採用。工期延長に連動して共通費を増額する「工期連動型共通費積算方式」も導入し、現場実態を考慮した適切な工期設定に努めている。

マニュアルでは、直轄の営繕工事で導入している、こうした積算方法の内容を記載するとともに、被災3県の自治体に新たに導入を促す「積算の見える化」についても解説している。

具体的には、これまで「一式」と記載してきた共通仮設費積上げ項目（仮囲い・交通誘導警備員・揚重機など）の施工条件や、工程に影響を及ぼす施工区分・手順などの施工条件を工事内訳書などに明示。施工条件をあらかじめ明示することで、現場で施工条件が異なった場合の精算変更を容易にする。

国交省は10月中に被災3件で説明会を開き、営繕積算方式の普及を図るとともに、公共建築相談窓口で各自治体からの相談にも応じる方針だ。

つむじ風

「校庭で思い切り走り回ったことがない」。被災地の子供の声を聞き愕然とした。校庭には仮設住宅が建設され、ボール遊びができるスペースもない。震災以降に入学した子供たちは、他の地域では当たり前の事も経験できない▼一方では、良い効果があることも事実。地方でも近隣との関係が徐々に薄れつつある中で、地域や世代間の交流を深めることができる。互いに苦労を分け合うことで、地域との連帯感や郷土への愛着が生まれるのではないか▼ただ、被災地の子供たちの運動能力の低下が数値に表れている。体育の授業だけでなく、昼休みや業間の何気ない運動遊びが、子供たちの連帯感のみならず、勉強に大切な「集中力」を高めることにつながるとの報告もある。当然、机に座るだけで、集中力が身に付く訳ではない▼資材価格の高騰などで、被災地の学校整備が思うように進まない状況にある。子供たちが、外で思い切り遊べるような環境を早期に整えられないものか。小学校で思い切り走った経験のない子供がいるのは悲しい。

BIM から CIM まで広範囲に作業をカバー
マルチレンジスキャナー GLS-2000

Iwakyo
受講生募集
資格で守
家庭